

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	地震荷重・構造性能小委員会		主 査 名：高田毅士 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：神田 順
設 置 期 間	2007 年 4 月 ~ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・より合理的な地震荷重の枠組みを構築するために、地域係数・用途係数(重要度係数)について議論し、今後の検討方針を検討する。 ・地震動予測値図、建築・土木共通の地震荷重の枠組みのあり方について議論する。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	高田毅士(東京大学)、石井透(清水建設)、田村良一(篠塚研究所)、石田寛(鹿島建設)、石山祐二(北海道大学)、糸井達哉(大成建設)、井上超(ハザマ)、曾田五月也(早稲田大学)、藤堂正喜(戸田建設)、中村博一(フォーラムエイト)、福島誠一郎(東電設計)、松島信一(清水建設)、松村和雄(鹿児島大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2007 年度予算	260,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s26/	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建築基準法の問題点を整理した。 2. 地域係数、用途係数の在り方について、議論することができた。 3. 地域係数について、今後の検討方針を検討することができた。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員の高齢化 2. 主査が多忙なため、開催回数を十分確保できない。